科目名	学校保健Ⅰ		担当教員	西田 倫子	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2PSH101
期待される学修成果	基礎教養 子ども理解				
アクティブラーニングの要素	該当なし				
実務経験	教諭（講師含む）				
実務経験を生かした授業内容	学校現場での経験を生かし、子どもの心身の健康課題、安全対策及び安全対応等について講義する。				
到達目標及びテーマ	学校教育全般に関する保健についての基礎知識や理念等を理解し、学校現場における健康教育のリーダーとして貢献できる能力や態度を獲得することを目標とする。				
授業の概要	学校保健は教育の場で実際される健康活動であり、幼稚園・保育園から大学までの成長過程に応じた支援が必要となる。子どもの健康問題や具体的な事例を踏まえ、疾病予防、健康の保持増進、事故発生予防及び安全確保等について理解する。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション、学校保健の概要
第2回	保健主事との役割
第3回	学校保健安全計画
第4回	学校保健組織活動、学校保健委員会
第5回	保健室の機能と役割
第6回	児童・生徒の健康診断
第7回	就学時の健康診断、職員の健康診断
第8回	健康観察、健康相談、健康相談活動（ゲストスピーカー：横井良恵氏のご講演から学ぶ）
第9回	救命救急処置、救命救急法、小テスト
第10回	学校安全：学校安全、不慮の事故、交通事故、学校安全の三領域、小テストの解説
第11回	精神保健：心身相関の仕組み、主な心身症の疾病
第12回	小児期における感染症及び病気、感染症が疑われる際の対応
第13回	自然災害：過去の日本における自然災害、自然災害時の対応の三原則、自然災害への対策・対応
第14回	熱中症の対策と予防および対処方法
第15回	まとめとまとめの試験

事前学修	2時間	シラバスに記載した各回の授業内容について、事前に調べておくこと。 場合によっては、事前アンケートを課すこともある。
事後学修	2時間	配布資料をもとに講義をふりかえり、論点を整理・復習すること。 子どもを取り巻く健康問題の特徴とそのためのヘルスプロモーションの在り方を説明できること。
フィードバックの方法	各回の授業内において行う。 小テストは、実施した翌週の講義内でポイントを解説し、学習課題を各自が再度把握する。 試験に対するフィードバックは模範解答を作成し、試験終了後に配布・解説する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	15%	各講義時に実施するショートレポート
上記以外の試験・平常点評価	85%	小テスト（25%）、まとめの試験（60%）
定期試験	0%	
補足事項	学校における児童・生徒の健康問題は、とても重要な課題となっている。それをふまえ、積極的に講義参加し、知識の定着及び適切な行動を検討すること。	

また、講義内では教員採用試験にもよく出題される学校保健安全法の内容も取り扱うため、正しく理解すること。

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	なし			

科目名	学校保健Ⅱ			担当教員	大窄 貴史	
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED2PSH402	
期待される学修成果	基礎教養 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション					
実務経験	教諭（講師含む）					
実務経験を生かした授業内容	学校現場の経験を生かし、子どもの心と体に関する健康問題を取り扱う。そして、保健授業で子どもが理解しやすい、教授方法等も扱う。					
到達目標及びテーマ	学校保健及び保健授業で扱う題材について保健授業指導案を作成し、保健授業の実施・運営ができる。子どもの健康の保持増進及びより良い保健授業を実施するための様々な方法について、意見や提案をディスカッションすることができる。					
授業の概要	学校における保健教育の実際について学び、保健教育に対する関心を抱く。魅力的な授業づくりに必要なスキルを習得する。その後、グループで教材研究を行い指導案並びに教材や資料を作成する。作成された指導案に基づいて模擬授業を行い、授業後は研究協議を通して授業評価を行う。					

授業計画	
第1回	オリエンテーション、本講義の計画説明（学校保健Ⅰの延長線上にある個別の問題を拡大・深化させる）、テーマと発表・分担決め、高等学校保健学習指導要領および総則
第2回	ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの実施上の留意点、教材研究・模擬授業指導案・配布資料等の検討①、高等学校保健学習指導要領の目標
第3回	地域保健サービスと健康の実施上の留意点、教材研究・模擬授業指導案・配布資料等の検討②、高等学校保健学習指導料の4つの単元
第4回	性と生の教育内容、性教育実施上の留意点と現代社会の課題、教材研究・模擬授業指導案・配布資料等の検討③、高等学校保健学習指導要領の変更点における解説
第5回	①模擬授業「薬物乱用防止教育」の教育内容及び研究協議
第6回	②模擬授業「応急手当の意義、心肺蘇生法」の教育内容及び研究協議
第7回	③模擬授業「交通事故とその予防」の教育内容及び研究協議
第8回	④模擬授業「応急手当の意義、心肺蘇生法（実習）」の教育内容及び研究協議
第9回	⑤模擬授業「妊娠出産と健康」の教育内容及び研究協議
第10回	⑥模擬授業「家族計画と人工妊娠中絶」の教育内容及び研究協議
第11回	⑦模擬授業「医薬品と健康」の教育内容及び研究協議
第12回	⑧模擬授業「大気汚染と健康」の教育内容及び研究協議
第13回	⑨模擬授業「保健制度及び医療保険制度の活用」の教育内容及び研究協議
第14回	⑩模擬授業「労働安全と健康」の教育内容及び研究協議
第15回	まとめ、保健授業及び学校保健の現代の課題、まとめの試験

事前学修	2時間	グループで担当する模擬授業づくり（教材研究、配布資料、学習指導案等）を行う。事前に他のグループが作成した指導案に目を通しておくこと。
事後学修	2時間	模擬授業後、研究協議でのディスカッションをふまえ、その教材の内容ををまとめること。また、より良い保健授業に生かせる部分をまとめておくこと。
フィードバックの方法	模擬授業終了に研究協議を行い、そこでの学びを共有する。模擬授業後のまとめ及び今後の課題は、第15回講義内でフィードバックを実施する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	55%	毎回講義のショートレポート（15%）、模擬授業後レポート（20%）、まとめのレポート（20%）

上記以外の試験・平常点評価	45%	模擬授業（40%）、研究協議（5%）
定期試験	0%	なし
補足事項	<p>本講義を履修するにあたり、「現代高等保健体育」を必ず購入すること。 「高等学校学習指導要領」は、他の講義で購入していない場合、購入すること（主に第1回から第3回講義時に使用する）。 本講義は、講義外におけるグループ作業（教材研究、指導案作り、配布資料づくり等）も行う。 講義時間外に作業を行うことを理解した上で履修すること。 事前指導の参加及び模擬授業を実施していない学生には、単位認定は行わない。</p>	

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
現代高等保健	衛藤隆ら	大修館書店	978-4-469-66319-8	初回から使用するため必ず購入すること。
参考資料	<p>文部科学省：高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「保健体育編 体育編」 家田重晴ら：保健科教育改定第4版，杏林書院 文部科学省：中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「保健体育編」，東山書房 池田延行ら：中学校保健体育，大日本図書</p>			